



製作：ICSCoE 3 期生 CSIRT カードゲーム P J

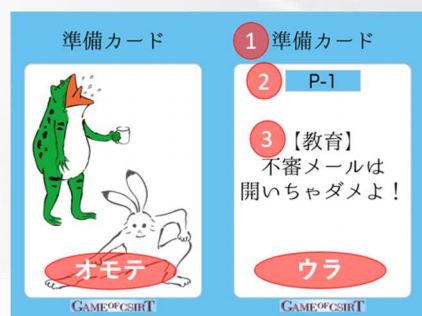
ゲーム説明書	
プレイ人数	2 人または 2 チーム
プレイ時間	5 分～30 分
対象者	CSIRT 初心者

1. ゲームの目的

本ゲームは CSIRT 担当者としてサイバー攻撃に対して事前準備と事後対応を実施します。
サイバー攻撃に対して適切な準備対応を実施することでポイントを多く獲得することを目指します。
[教育効果]

- 準備・攻撃・対応の 3 フェーズの作業を学ぶ
- ゲームを繰り返すことで、攻撃に対する必要な準備、対応を学ぶ
- 準備した対策が全ての攻撃を防御できるとは限らないことを学ぶ

2. コンポーネント



準備カード (全 14 枚)

- 【説明】 CSIRT (プレイヤー) がサイバー攻撃に備えて、事前に準備しておく対策です
対策の内容によって、サイバー攻撃を受けた際に下落する株価ポイントを抑制することができます
- 【情報】 ①：カード種別
②：カード番号 (P-1～P-14)
③：防御のための事前対策の説明



攻撃カード (全 6 枚)

- 【説明】 本ゲームにて発生するサイバー攻撃です
攻撃により記載された分の株価ポイントが下落しますが、事前に選択していた準備カードに応じて「上昇株価ポイント」に記載のポイントが上昇します
- 【情報】 ①：カード種別
②：カード番号 (A-1～A-6)
③：下落株価ポイント
④：攻撃内容の説明
⑤：事前に選択した準備カードによる上昇株価ポイント



対応カード (全 12 枚)

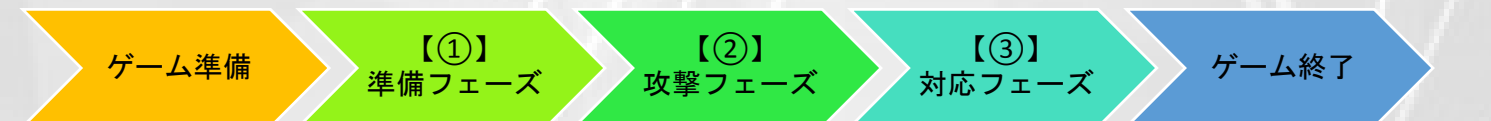
- 【説明】 発生したサイバー攻撃に対する CSIRT (プレイヤー) が取るべき対応です
「上昇株価ポイント」に記載の株価ポイントが上昇します (攻撃 (A-○) によって上昇するポイントは異なります)
- 【情報】 ①：カード種別
②：カード番号 (R-1～R-12)
③：攻撃に対する対策内容の説明
④：対策による上昇株価ポイント

3. ストーリー

あなたは組織の CSIRT 担当者に任命されました。サイバー攻撃をいつ受けるかもどんな攻撃を受けるかも事前にはわかりません。サイバー攻撃が来る前に準備を整えたいが、資金や人材は限られているため、優先順位をつけて実施する必要があります。また、サイバー攻撃被害に遭った後の対応も CSIRT の重要な役割です。適切な対応をすることで組織の株価ポイントを上昇させましょう。
最後に、あなたにはライバル組織がいます。サイバーセキュリティ対策を充実させて、ライバル組織に差をつけましょう。

4. ゲームの流れ

ゲーム開始時は、組織の株価ポイントは 30,000 ポイントです。
サイバー攻撃を受けることにより株価ポイントは下落しますが、事前に準備を行っておくことで、その内容に応じて株価ポイントは上昇します。
また、サイバー攻撃を受けた後の対応を行うことにより、株価ポイントを上昇させることができます。
最終的に当初の株価ポイントから「サイバー攻撃による下落」「対応による上昇」を計算し、株価ポイントが高い方が勝ちとなります。



5. ゲームの進め方

【準備】 テーブルの上に「準備カード 14 枚」を、裏面にして重ならないようばらして置きます。
「攻撃カード 6 枚」をよく混ぜます。その後、「攻撃カード」と「対応カード」を表面にして山札として置きます。

【①】 「準備カード 14 枚」の中から、今後発生するサイバー攻撃に備えて、交互に 1 枚ずつ、各チーム計 3 枚のカードを選択します。
⇒最初にカードを選択するのは、**CSIRT 経験の浅いメンバーが多いチームとします。**

【②】 「攻撃カード」の山札の中から一番上のカードをめくり、場に出します。
⇒カードに記載された攻撃に伴い、各チームは記載された分の株価ポイントが下落します。
⇒3 枚の準備カードと攻撃カードに記載された「上昇株価ポイント」を確認し、選択した準備カードの分だけ、株価ポイントが上昇します。

【③】 「対応カード 12 枚」を全て表面のまま重ならないようにテーブルに並べ、【②】の攻撃に対応する対応カードを交互に 1 枚ずつ、各チーム計 2 枚のカードを選択します。
⇒【②】の時点で、**下落した株価ポイントが多いチームからカードを選択します。**
同ポイントの場合は準備フェーズと同じ順番とします。
⇒対応カードに記載された「上昇株価ポイント」を確認し、選択した対応カード分の株価ポイントが上昇します。

【終了】 ゲーム開始時の株価ポイントから、攻撃による下落、対応による上昇を計算し、株価ポイントが高い方のチームが勝ちとなります。

